



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 ニチュ三菱フォークリフト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <http://www.nmf.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) ニノ宮 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 CFO (氏名) 中村 真明 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	104,892	△14.8	4,751	1.1	2,583	△41.0	762	△68.7
28年3月期第2四半期	123,130	△14.3	4,699	△25.3	4,377	△27.4	2,438	△28.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △4,260百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 2,435百万円 (△48.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	7.17	7.15
28年3月期第2四半期	22.92	22.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	187,886	52,735	27.3	481.30
28年3月期	192,163	58,199	29.5	532.04

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 51,213百万円 28年3月期 56,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	11.00	11.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△3.1	11,000	9.1	8,500	△11.5	4,500	△4.5	42.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式及びA種種類株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	106,466,013株	28年3月期	106,466,013株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	58,976株	28年3月期	58,867株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	106,407,121株	28年3月期2Q	106,394,325株

※期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国・新興国の成長鈍化、英国のEU離脱決定による欧州経済の悪化懸念、米国でも大統領選を控えて先行き不透明感を強めております。日本経済は、緩やかな回復傾向でありましたが、このところの為替相場と株式市場の不安定な動きなどにより、国内景気は先行きが見通せない状況となっております。

このような状況下、当社グループは国内市場において、物流の高度化・効率化やソリューション提供等お客様のニーズに適切に対応していくことで、一層の売上増加、シェアアップを目指しております。海外においては、欧州で堅調な推移をみせておりますが、アジア、中国では市況の回復が遅れております。各地域での優位性を生かした商品の開発・生産を進めることにより、グループ全体の効率化を図り、今後の売上増加に寄与させてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、欧州における売上が増加したものの、急速な円高に伴う為替算影響、中国、アジアの新興国及び米国の売上減少などにより1,048億9千2百万円（前年同四半期比14.8%減少）となりました。利益面につきましては、円高による大きな影響はありますが、資材費低減及び欧州子会社の利益改善などにより、営業利益は47億5千1百万円（前年同四半期比1.1%増加）となりました。一方で、持分法による投資損失に含まれるのれん償却影響により、経常利益は25億8千3百万円（前年同四半期比41.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億6千2百万円（前年同四半期比68.7%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、売上高385億8千9百万円（前年同四半期比3.3%減少）、セグメント利益1億1千7百万円（前年同四半期比62.3%減少）となりました。売上高減少は、ディーゼルエンジンフォークリフトの第4次排気ガス規制前の駆込み需要が前期にあったこと、バッテリーフォークリフトにおいて熊本地震により一部の部品調達先が被災した影響で生産調整を行ったことによりです。セグメント利益は、売上高減少と新システム開発費用増加などにより減少しました。

〔海外事業〕

海外事業は、売上高663億2百万円（前年同四半期比20.3%減少）、セグメント利益46億3千4百万円（前年同四半期比5.6%増加）となりました。売上高減少は、円高による為替算影響が大きな要因であります。セグメント利益は、人民元安による中国子会社の採算向上、欧州事業の改善及び他地域も含めて原価の低減、経費の削減により増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,878億8千6百万円となり、前連結会計年度末より42億7千7百万円減少しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少等により79億7百万円減少しましたが、固定資産は、投資有価証券の増加等により36億3千万円増加しました。負債合計は1,351億5千1百万円となり、前連結会計年度末より11億8千6百万円増加しました。主な要因は、その他に含まれる長期未払金の増加等によるものであります。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと512億1千3百万円となり、前連結会計年度末より53億9千8百万円減少しました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年7月29日の「平成29年3月期 第1四半期決算短信」及び「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(共通支配下の取引等)

当社は、平成28年9月29日開催の取締役会において、当社の持分法適用関連会社であるユニキャリア(株)の株式を当社の親会社である三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス(株)より追加取得し、完全子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

1. 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

企業の名称：ユニキャリア株式会社

事業の内容：フォークリフト、コンテナキャリア、トランスファークレーン等
各種運搬機械の開発・製造および販売

② 企業結合日

平成29年1月1日（予定）

③ 企業結合の法的形式

株式取得

④ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は65%であり、当該取引によりユニキャリア(株)を当社の完全子会社といたします。当該追加取得は、経営統合に向けたステップとして、販売・開発・生産などあらゆる事業領域における意思決定を迅速化して、シナジーの最大化・早期化をはかり事業規模拡大を追求するものです。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日）を適用し、共通支配下の取引等として処理を行います。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	76,778百万円
取得原価		76,778百万円

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,282	10,223
受取手形及び売掛金	42,588	36,106
商品及び製品	21,579	20,413
仕掛品	4,668	5,423
原材料及び貯蔵品	10,485	10,053
その他	8,677	8,086
貸倒引当金	△281	△216
流動資産合計	97,999	90,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,596	11,717
機械装置及び運搬具(純額)	16,709	15,708
土地	6,328	6,148
その他(純額)	3,113	2,853
有形固定資産合計	38,748	36,427
無形固定資産		
のれん	1,225	908
その他	4,678	5,548
無形固定資産合計	5,903	6,457
投資その他の資産		
投資有価証券	46,190	51,706
退職給付に係る資産	2	0
その他	3,368	3,243
貸倒引当金	△48	△41
投資その他の資産合計	49,512	54,909
固定資産合計	94,163	97,794
資産合計	192,163	187,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,507	22,910
電子記録債務	8,567	11,876
短期借入金	65,883	61,390
未払法人税等	632	1,664
賞与引当金	2,069	2,067
役員賞与引当金	76	32
製品保証引当金	2,773	2,563
その他	12,184	12,393
流動負債合計	119,695	114,898
固定負債		
長期借入金	4,273	3,147
製品保証引当金	289	210
役員退職慰労引当金	14	13
退職給付に係る負債	8,027	7,668
その他	1,665	9,212
固定負債合計	14,269	20,252
負債合計	133,964	135,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,890	4,890
資本剰余金	35,842	35,842
利益剰余金	10,771	10,364
自己株式	△26	△26
株主資本合計	51,479	51,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,547	1,450
繰延ヘッジ損益	—	△49
為替換算調整勘定	3,473	△1,359
退職給付に係る調整累計額	112	101
その他の包括利益累計額合計	5,133	142
新株予約権	112	128
非支配株主持分	1,473	1,392
純資産合計	58,199	52,735
負債純資産合計	192,163	187,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	123,130	104,892
売上原価	96,107	79,706
売上総利益	27,022	25,185
販売費及び一般管理費	22,323	20,433
営業利益	4,699	4,751
営業外収益		
受取利息	79	64
受取配当金	55	59
持分法による投資利益	19	—
その他	211	129
営業外収益合計	365	253
営業外費用		
支払利息	258	249
持分法による投資損失	—	1,634
為替差損	401	492
その他	28	45
営業外費用合計	687	2,422
経常利益	4,377	2,583
特別利益		
固定資産売却益	27	17
投資有価証券売却益	—	30
特別利益合計	27	47
特別損失		
固定資産処分損	65	41
特別損失合計	65	41
税金等調整前四半期純利益	4,339	2,588
法人税、住民税及び事業税	2,184	1,952
法人税等調整額	△500	△269
法人税等合計	1,683	1,682
四半期純利益	2,656	906
非支配株主に帰属する四半期純利益	217	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,438	762

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,656	906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△99
為替換算調整勘定	△216	△3,789
退職給付に係る調整額	△34	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△1,266
その他の包括利益合計	△220	△5,166
四半期包括利益	2,435	△4,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,219	△4,228
非支配株主に係る四半期包括利益	216	△31

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	39,888	83,241	123,130	—	123,130
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,635	192	12,828	(12,828)	—
計	52,524	83,434	135,958	(12,828)	123,130
セグメント利益	311	4,387	4,699	—	4,699

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	38,589	66,302	104,892	—	104,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,517	80	9,597	(9,597)	—
計	48,106	66,382	114,489	(9,597)	104,892
セグメント利益	117	4,634	4,751	—	4,751

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。